

# 会 議 録

会 議 名	第3回知立市総合公共交通会議
日 時	平成30年12月12日（水） 14時25分～16時20分
場 所	知立市中央公民館 中会議室
次 第	<p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項</p> <p>（1）ミニバスの利用状況について 【資料1】</p> <p>（2）夏休み期間中の中学生ミニバス無料乗車について 【資料2】</p> <p>（3）乗車料金種別調査の結果について 【資料3】</p> <p>（4）地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について 【資料4】</p> <p>4.協議事項</p> <p>（1）知立市地域公共交通網形成計画（案）について 【資料5】</p> <p>（2）パブリックコメントについて 【資料6】</p> <p>5.その他</p> <p>6.閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、委員名簿、座席表</li> <li>・会議説明資料（資料1、2、3、4、5、6）</li> <li>・当日配布資料（知立市の公共交通の未来のために（参考資料））</li> </ul>
出 席 者	<p>【委 員】 山崎委員（(公財)豊田都市交通研究所主幹研究員）</p> <p>小林委員（(公社)愛知県バス協会専務理事）</p> <p>植田委員（愛知県タクシー協会理事）</p> <p>吉岡委員（名鉄バス㈱営業本部運行部運行課長）</p> <p>河合議員（名古屋鉄道㈱東部支配人室営業総務課長）</p> <p>田浦（永井）委員（愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事）</p> <p>磯貝委員（知立市身体障害者福祉協議会副会長）</p> <p>堀委員（知立老人クラブ連合会会長）</p> <p>安井委員（区長会会計）</p> <p>岩城委員（知立市商工会女性部長）</p> <p>櫻井委員（公募市民）</p> <p>二輪委員（中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）</p> <p>榊原（塚崎）委員（愛知県振興部交通対策課主幹）</p> <p>夏目委員（愛知県安城警察署交通課長）</p> <p>鈴木委員（愛知県知立建設事務所維持管理課長）</p> <p>尾崎委員（知立市都市整備部長）</p> <p>近藤委員（知立市土木課長）</p> <p>（ ） 氏名は代理出席者</p>

## 内容（概要）

### 1.開会

(司 会) 定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第3回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は17名、全委員17名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。

本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、カラー刷りのミニバスガイド、先日行いました住民懇談会の参考資料として、山崎先生に作成していただきました「知立市の公共交通の未来のために」とある冊子のもの、事前に送付させていただきました「平成30年度第3回知立市総合公共交通会議資料」、と併せて送付させていただきましたカラー刷りの「知立市地域公共交通網形成計画の概要案」と分厚い「知立市地域公共交通網形成計画（案）」です。それでは、事務局を代表しまして、林市長よりご挨拶申し上げます。

### 2.あいさつ

(市 長) 失礼いたします。本日はご多用の中、第3回になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。日頃はそれぞれのお立場でご支援をいただいております。重ねてお礼申し上げます。

知立駅周辺整備事業、100年に1度のまちづくりということで、着実に進めさせていただいております。11月末には再開発組合の方に行っていただいております再開発ビルが完成いたしました。21階建てということで知立市の最高層となっております。「エキタス知立」という名称でございます。併せて鉄道高架事業も順調に進み、福祉体育館の辺りでは柱といった高架構造物が建設され、様々な箇所が進んでおります。そうした中で本会議では鉄道、バス、タクシーなどの公共交通がまちづくりと連動した持続可能な公共交通を目指しているところで、現在作成しております知立市地域公共交通網形成計画の案がまとまりましたので、ご審議いただきたいと思っております。

75歳以上のミニバス運賃無料化事業も多くの皆様に活用いただいております。ますます高齢社会が進む中や環境施策に対してもミニバスは有効なものだと思います。この会議において、多くの皆様に快適に利用いただけるよう、乗車していただけるようご指導いただければと思います。本日もよろしく申し上げます。

(司 会) ここで委員の皆様の紹介をさせていただくところではございますが、時間の都合もありますので、配布させていただきました名簿及び座席表にかえさせていただきます。ご了承ください。本日の会議では、報告事項が4件、協議事項が2件ございます。

報告事項としてミニバスの利用状況について、夏休み期間中の中学生ミニバス無料乗車について、乗車料金種別調査の結果について、地域公共交通確保維持事業の事業評価のご報告と、協議事項として、知立市地域公共交通網形成計画（案）について、パブリ

ックコメントについてのご審議をお願いいたします。それでは、ここからの議事進行につきましても、議長の山崎会長に交代させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3.報告事項

(議 長) 豊田都市交通研究所の山崎でございます。本日は報告事項で4件、協議事項で2件についてご協議いただきたいと思います。この会場に来るときに公民館のロビーに子どもたちの美術作品が展示されており、その中にミニバスの絵がありました。その絵のタイトルが「知立の宝」というタイトルが付けられていて、作品自体も非常に凝っており、素晴らしい作品でした。何より子どもが知立の宝とじてくれているのは、バスに関わっている協議会の方々にとって、よりよいバスを作っていこうと努力していただいている効果が出てきていると感じております。より市民の方々に愛着を持ってくださるようにしっかりと議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして報告事項(1)ミニバスの利用状況について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1に基づき説明】

(議 長) 1ページの乗車料金集計表を見ると、随分前年度と比べてマイナスに映りますが、これは福祉施策と併せて補填される部分があるということで、実際にはマイナスではないということです。それから2ページでは、コースごとに見てみると3コースが落ち込んでいるということですが、原因を考察していただいております。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

考察していただいているように、コミュニティバスですと毎日乗っているような人が高齢の方だと外出できなくなってしまったなどの要因で乗らなくなってしまおうと一気に乗車数に影響してくることはあるかと思っております。この情報は運行事業者さんから確認されたことですか。

(事務局) 3コースは名鉄バス知立営業所さんに運行いただいております、乗務員の方からご報告を受けました。

(議 長) 今年に入って随所でマイナスになっている月については強い台風などの天候不順の影響もあるかもしれません。それでは、報告事項(2)「夏休み期間中の中学生ミニバス無料乗車について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありませんか。説明いただきましたとおり去年は少し少なく、27年は日数も多かったということもあってか人数も多くな

っており、今年も多くの中学生が利用してくれたということでもあります。

(委員) 実施するにあたって中学生に対して利用に関する目的地などのアンケートは行っていますか。

(事務局) 平成26年度から実施させていただいており、26年度から28年度にかけてアンケート調査を行いました。実際にどのコースを使ったか、どこに向かったか、良かったところ、改善して欲しいところなど調査をさせていただきました。統計上は3年間で同様の傾向が取れていましたので、昨年度から一旦取りやめております。

(委員) アンケートの結果、何か反映されたことはありますか。

(事務局) 改善して欲しい点として、時間通りにバスが来ない、便数が少ない、逆周りが少ないなどの意見が多く即座に反映できるものがあまり見受けられなかったのが実情であります。

(議長) 来年辺りは実態の確認ということで再度アンケートを実施しても良いかもしれませんね。

(事務局) 中学生も毎年入れ替わっていき、傾向も変わっているかもしれませんので実施の検討をさせていただきます。

(議長) 今後も無料化を実施していただき、動向を注視していただければと思います。それでは、報告事項(3)「乗車料金種別調査の結果について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) **【資料3に基づき説明】**

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。ポイントとしては無料パスを利用しての乗車が一番多かったというところですね。この部分は無料と言いつつも形としては市の内部補填ということで各課より支払われます。次に大きい数字としては1ヶ月定期券の割合が多かったですが、購入している人はどういう方々か、どのような目的で購入されているかといったことについては把握されていますか。

(事務局) 定期券を購入した際の年齢層や目的は把握できておりません。推測にはなりますが、ミニバスの利用者は高齢者が多いこともあって、通院を目的としているのではないかと。というところと買い物や通勤・通学の際に1ヶ月に何度もミニバスを使うため定期券を買って利用した方がお得と考える人が多いのかもしれない。

(議長) 75歳以上の無料パスが発行される前の定期券の購入層についてはいかがですか。

(事務局) 定期券の購入層については把握できておりません。

(議長) 一度把握できると良いですね。他にいかがでしょうか。それでは、報告事項(4)「地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統補助)の事業評価について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委員) 事務局の説明に加えまして補足をさせていただきます。事務局から説明のとおり、ミニバスの2コース、3コース、4コースは複数市町を跨ぐ路線ということで地域間幹線系統という名の下に国から補助金を得られている路線となっております。つきましては、9月30日を末日として1年間として考えられているのですが、それまでの期間の間の取り組みに対して自己評価等をする必要がございます。事務局を務めています愛知県から、このような事業評価票の作成の協力を運営主体をお願いしております。関係市町の豊田市と刈谷市にも必要に応じて展開していただきながら、事業評価票を作成しております。

この事業評価に関しましては、年が明けて2月に第三者評価委員会というものがあまして、有識者の方が事業評価に対して様々なご意見をいただく場となっております。この事業評価票を基に評価を受けていくこととなりますが、第三者評価委員会からは運営主体である市町村の意見だけではなく、利用者の方、地元の方の意見も加味しながら事業評価を行う必要があることも指摘されている経緯もありますので、つきましてはこのような地域公共交通会議の場で事業評価票を資料提供していただきながらご意見を頂戴いただければと思います。現在記載されている内容以外にも意見がありましたら、この場でも結構ですし、後日でも構いませんのでご意見をいただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

(議長) ありがとうございます。知立市の中だけで走っているのではなく、他の市町に接続しているような路線については県が取りまとめて補助金を国からいただくものとなっております。お金をいただいているからには評価をして報告する必要があります。何かご意見・ご質問はありますか。

(委員) この事業評価票で言う目標というのは乗車人員の増減だけで評価されるものですか。3コースは3つのコースの中で収支率や平均乗車密度などが最も高くなっているのにB評価となっております。基準は乗車人員のみということでしょうか。

(委員) 地域間幹線系統は知立市の路線だけではなく、事業者が運営している民間のバス路線や他の市町が運営しているコミュニティバスも含まれていることあまして、本県が取りまとめて計画を作成しています。そこで県内全体でどのような数値を提出すること

が可能かというところで、分かりやすく県内全体で統一のできる数値として利用者がベストではないかというところで、目標を利用者数に設定しています。

(議 長) ご指摘のあったとおり、3コースは利用者も多く、輸送量や収支率も下がっていない現状ですが、利用者に限って言えばB評価がついています。ですので、それほど悪い状況ではないと思います。

(委 員) 目標設定について28年度の実績が目標になっているかと思いますが、設定の根拠が分かりにくいと感じます。過去2、3年の平均だとか、端数までいるのかなと思いました。30年度ということはまだ終わってないはずですが、どのように把握されているのかなと思いました。

(事務局) ご指摘のあったとおり、目標値については前年度の数値を目標とさせていただいております。これは現状としまして、バスの運行人員がほぼ横ばい状況ということもありますので、前年よりも多くということで設定させていただいております。人数の評価につきましては、事業自体が10月1日から9月末までという時期で数値を算出させていただいております。ですので、行政の行う4月から3月の数値と異なってきます。

(委 員) 目標値は前々年度となっておりますが。

(事務局) この数値自体の設定は29年度に行っていますので、28年度の数字を使用させていただいております。

(議 長) 年度のずれのせいで少しややこしいことになっているということですね。

(委 員) ありがとうございます。

(議 長) 第三者評価委員会のお話も出ましたが、その場には知立市も参加されますか。

(事務局) 地域間幹線系統は事務局としては愛知県バス対策協議会に取りまとめていただいている形になっていますので、出席は必要とはされていません。

(議 長) コミュニティバスで幹線として取り扱われているものは、評価は実施主体である市町の職員も出席するべきだという議論が過去にあったかと思いますが、県にお願いをするということですね。それでは報告事項としては以上となります。続きまして協議事項として2つございますので、協議事項(1)知立市地域公共交通網形成計画(案)について事務局より説明をお願いします。

#### 4.協議事項

(事務局) 【資料5に基づき説明】

(議長) 序章から3章までが昨年度までに議論してきた部分となりますか。

(事務局) そうですね。課題の抽出までが昨年度にまとめさせていただいた部分となります。

(議長) この中に先日開催されました住民懇談会について追加されたということですね。3章までの部分で何かご意見・ご質問はありませんか。

(委員) コミュニティバスの路線名についてですが、24ページではグリーンコースやパープルコースといった通称名が使用されているのに対して、冒頭に説明いただきました乗車人数の報告の資料では1コース、2コースといった名称で使われており統一されていません。ですので、今後市民や住民に対して説明していく際は統一した方が良いのかなと思いました。また計画の中でも統一されていない部分がありますので、揃えていただければと思います。加えて25ページのグリーンコースに関する集計表が異なっていますので直すべきかと思います。

(事務局) 申し訳ございません。25ページにつきましては修正させていただきます。知立のミニバスの場合、正式名称は1コース～5コースまでという中でバスにカラーリングいたしまして市民の方にとって分かりやすいようにそれぞれに色を塗っています。この計画につきましては統一する形で修正をかけさせていただきたいと思います。

(委員) 今後住民の方などに説明していく際には正式名称よりも通称名に近い名称の方が分かりやすいかと思いますが、その辺りはご検討いただければと思います。ただ、それぞれの見る表によって名称が変わっていると分からなくなってしまうので、これについても検討いただければと思います。

(事務局) ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(議長) ご指摘いただいた点は修正いただきますようお願いします。それでは、45ページから基本方針についてですが、これは前回の会議で審議されましたか。

(事務局) 3章から7章までにつきましては前回の会議の中でお示しさせていただき、ご意見をいただいた分について修正させていただきました。

(議長) では前回の会議で空白となっていた目標値についてですが、今回は数値を設定されたということで、この部分を中心にご意見・ご質問はありますか。

(委員) 50ページの計画全体の目標値、公共交通利用者数の維持・増加という中で、高岡地域バスが急に出てきていますが、豊田市のコミュニティバスだったかと思います。知立市の計画の中でどのような位置付けをされていますか。それと高岡地域バスと一般タクシーというのは基本方針Ⅱの目標値の中では出てきませんが、それについてはいかがでしょうか。

(事務局) 高岡地域バスにつきましては知立駅に乗り入れをしております。高岡地域バスは2路線ありまして、1路線は若林駅や豊田市内を走っている路線です。もう1路線は知立市を経由する路線で、このバスを利用して知立駅を利用する人が非常に多いということもあって、知立市の計画の中でも大きく関連するのではないかとということで盛りこまさせていただきました。

それは基本方針Ⅱの中にはございませんが、基本的には一般タクシーの乗降も高岡地域バスもほぼ知立駅での数となっておりますので、ここでは省略をさせていただいていますが、必要があれば載せることも検討していきたいと思っております。

(議長) 計画全体の目標値に関しては知立に関わる公共交通を全て挙げており、人口も横ばい状況ですので現状を維持していくところで、現状より少し高い目標を設定しているということです。それぞれの基本方針に関しては、その中から特に抽出してきて示している考え方となっておりますね。

(委員) 60ページの公共交通の利用促進事例についてですが、このようなことをやっていきますということで他の自治体の例を挙げていただいています。バスロケーションシステムの導入を事業として挙げており、同じく事業としてオープンデータも挙げられています。現在のトレンドと言うと変かかもしれませんが、オープンデータやG T F Sと言いまして、グーグルマップ等で最寄りの場所からの乗り継ぎを自動検索できるようなそういうものでバス運行状況をより周知していこうというのが主流になっています。できればそういう例も挙げて目指していただければと思います。

また63ページのスケジュールについてですが、全体的に期間がずっと続いている項目が多く、いつ何をやるのかがスケジュールと言いつつ分かりにくい印象を受けます。この辺りを分かりやすくしていただければと思います。例えばノンステップバスの導入が2019年度から2026年度まで示されており、その辺りはいかがでしょうか。

(事務局) オープンデータにつきましては、8月の会議でもご報告させていただきましたが、NAVITIMEのサービスにミニバスについて登録させていただきました。グーグルマップには対応していませんが、携帯のGPS機能を使って最寄りのバス停や時刻表が検索できるようになっています。またNAVITIMEだけではなく、ジョルダンというサービスにも登録をお願いしている段階でございます。

(議長) 具体的なオープンデータに関する取り組み例を利用促進事例に加えると良いというご指摘でしたので検討いただければと思います。



(事務局) 表の表し方では黒色の線は現状もやっていることを継続していく内容です。白色の線は検討のうえ黒色になるところで実施に移るといったところです。例えば知立駅のバリアフリー化や駅前広場のロータリー整備というのは2023年度に整備をして行くという表現となっています。ノンステップバスの導入については引き続き新たにバスを購入する際にもノンステップバスを購入し継続実施ということで表現させていただいております。

(議長) 今のご説明ですと、今現在もやっている継続事業が多いということですかね。であるにしてももう少しメリハリは欲しいところですよ。8年という比較的長めな計画年数ですので、せめて前半後半に分けてポイントが見えてくると良いかと思えます。今の段階では難しいかもしれませんが検討いただきたいと思います。

(事務局) 検討させていただきます。

(委員) 公共交通利用促進施策に関し様々な施策に取り組んでいくかと思いますが、モデルコースの例を60ページにおいて取り上げていますよね。特にお年寄りからすればナビゲーションシステムは使いにくく、情報を得ることが難しいです。モデルコースをたくさん作り、それを冊子にして配布すれば利便性も向上すると思います。

(事務局) 60ページの上段にモデルコース案ということで行政側がこういう使い方がありますよという提案になります。63ページのアクションプログラムの中には「モデルダイヤ(マイ時刻表)の作成」という項目がございます。これにつきましてはご指摘のありましたとおり、例えば病院に行くまでの時刻表を書き込めるようなものを作り何らかの形で実現化できれば、利用者にとっても一目で分かるのではないかという思いです。

(議長) マイ時刻表も1つの方法ではありますが、ご意見としていただいたのは60ページの例のようにお出かけの例として冊子にして、市民に伝えるようなものがあればという提案です。

(事務局) アクションプログラムの中でいうと、「市ホームページや市広報等の充実」という項目がございます。こういった項目でご指摘のありましたモデルダイヤなどを載せていくというのも1つの案だと思っています。

(議長) ありがとうございます。他にはよろしかったでしょうか。

(委員) 52ページの各公共交通機関の実績数値の一般タクシーの注意書きについてですが、大興タクシー及び名鉄東部交通の2社を集計していますとあります。名鉄東部交通さんの利用者数の出し方というのはどのように出されていますか。一方大興タクシーさんはどのような数字を使用しているのか教えてください。

(事務局) こちらの数値はタクシー事業者に確認させていただきました。知立市は大興タクシーと名鉄東部交通の2社が主で動いています。大興タクシーにつきましては1乗車の中に2人、3人乗ったという記載が明記された状態で運行記録として残っていましたが、名鉄東部交通につきましては1乗車という乗車回数で表記されており、聞き取りの中で1乗車当たり1.3人という話がありました。ここでは乗車人数というとりまとめがさせていただきますので、乗車回数に1.3人を掛け合わせて合計を記載させていただきました。

(議長) タクシーの乗降は市内で完結していなくても、市内で乗って市外で降りた、市外で乗って市内で降りたというのも含まれていますか。あるいは知立の中だけの動きですか。

(事務局) 乗り込んだ場所ということで、知立市内で乗った回数を記録させていただいております。ですので、豊田市や刈谷市から知立駅に来た人の数はここでは入っておりません。

(議長) 全てのデータを記録するのは大変なことです。どういう条件のものかというのを書いておくと良いと思います。他にいかがでしょうか。ここで市民委員の方から何か一言ずつご意見を伺いたいと思います。どこの部分でも結構ですのでお願いします。

(委員) 先日催し物を開催した際に免許証を返納された方がみえました。谷田の方から福祉体育館に来るまでとても時間がかかったと話していました。乗り継ぎが分からないから、どうしたものかと相談されましたが、私もあまり利用しないので最適な経路が分かりませんでした。谷田から知立駅まで行って、駅から1コースか2コースに乗らないと福祉体育館には向かわないのでとても時間がかかりますよね。そういった乗り継ぎをスムーズにできないかということをお聞きしたので教えてください。

(議長) 今のご意見はまさに先ほども議論していましたバスロケやグーグルマップといったオープンデータの話にも関連しますが、高齢者の方からするとスマートフォンを使えないものですから、こういう乗り方をすれば目的地まで何時にたどり着くのか例があると良いですね。

(事務局) 今のお話だと谷田の方面から3コース(オレンジコース)に乗られて知立駅で乗り換えて2コース(パープルコース)で福祉体育館に向かうため時間がかかるというような内容かと思います。1コース(グリーンコース)であれば知立駅から福祉体育館までは数分で到着します。周知の方法については私どもも勉強しないといけない部分ではありますが、知立市のホームページ上にはミニバスの乗り継ぎも含めて時刻表検索システムがございます。乗る場所から行きたい場所まで時間を指定していただくと何時の便で乗り換えて行けるのかが分かるシステムを導入しています。もしホームページに入ることができるようでしたらお使いいただければと思います。

(委員) お年寄りですからパソコンや携帯がまず使えないので難しいかと思います。

(議 長) そういうところがあるものですから、紙上でモデル的なものが出ていますと高齢者の方にとって助かりますよね。今後は具体的な施策の中で検討いただければと思います。

(委 員) そういったこともあるので、どこかしらにバスについて聞くことができる連絡先を記載しておくと思いいます。モデルコースの話がありましたが、私も自分のモデルコースを設定して実践したことがあります。

(議 長) 良い取り組みですね。モデルコースの作成、実践を市民参加で行えるとより良くなると思います。連絡先についての提案も出ましたが、市でネット上にそういったシステムを作っているのであれば、市に電話すると職員が目的地までの経路を検索してすぐに伝えられることもできるかと思っています。

(委 員) 年齢が重なってくると、どうしても検索システムのようなものが使えなくなってくる人もいますので、そういう人達が集まる所に出向いてバスについての乗り方教室を開催できると良いと思います。ミニバスがもっと身近なものになると思います。自宅が1コース（グリーンコース）の近くにあるのですが、なかなか夕方に使おうと思うと難しい部分があって、往復便があるとありがたいです。また市の広報等に行事の開催予定が掲載されていますが、それに併せてミニバスの情報を一緒に掲載できるとよりミニバスが身近なものになるような気がします。

(事務局) 今の老人会や他の集まりに参加して、モデルコースを作っていくことは非常に良いアイデアだと思います。往復便などの様々な要望についてですが、多くの皆さんに利用していただこうとすると、どうしても現在の状態が良いのではないかという認識を事務局として持っていますので、申し訳ありませんがご理解いただければと思います。

(議 長) 出前講座が知立市にはあると思いますが、バスの乗り方教室みたいなものがあると良いかもしれませんね。それでは7章までのところはよろしいですか。

64ページからの8章には評価に関する事項が追加されていますが、この部分に関してご意見・ご質問はありませんか。

(委 員) 網形成計画期間として比較的長期になります8年間を設定されていますが、中間評価は行われる予定はありますか。県内でも8年間を期間としている計画は稀なケースで、長期になりますと中間評価で全体的な進捗状況を確認されたほうが良いのではないかと思います。個別の事業と路線については毎年度行うとなっていますが、検討していただければと思います。

(事務局) 64ページにも記載がありますが、個別事業の評価・検証を踏まえ、必要に応じて適宜実施ということで中間評価を絶対行うとは表記していませんが、必要があれば中間の前でも行う必要があると思いますし、今後様子を見ながら評価をする必要がありましたら行っていきたいと思っています。

(議 長) 明確にこの時期に中間評価を実施しますとあれば一番良い形ですね。各事業の個別の評価は毎年行っていき、必要に応じてということですね。検討いただければと思います。

(委 員) 八橋の駅前を現在工事されているかと思いますが、ミニバスも通るルートですし、迂回路もあるということで乗降が危なくなっているように思います。駅にはロータリーもあってそこを回る形での運行はできませんか。

(事務局) 豊田市による区画整理事業が現在三河八橋駅周辺で行われています。2コース（パープルコース）が通っている路線ではありますが、工事等によって若干変えたりということがあります。三河八橋駅の周りのロータリーも今後変わっていくということもありますので、完成した際には駅前のロータリーに入らせていただけたらと思っています。

(委 員) 今の状態が通るのに少し危ないように思えます。

(議 長) またすぐに対策を考えていただけたらと思います。それでは案がここまで出てきており、協議事項となっていますので色々な意見が出てきましたので修正して承認をいただかないといけないのは今後のパブリックコメントをやっていくにあたって必要ということですよ。また案をまだ取るという段階でもありません。案の状態ではありますが、ここまでの案として本日出た意見を事務局に一任し修正のうえ、パブリックコメントに臨む形ということです。

その点につきましてご審議いただきたいと思います。ご了承いただき本日出た意見の修正し事務局に一任する形でよろしいでしょうか。賛成いただける方は挙手をお願いします。

(委 員) (全員挙手)

(議 長) ありがとうございます。出席者全員に賛成をいただきましたので、事務局の方で進めてください。それでは協議事項(2)パブリックコメントについて事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料6に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問はありますか。資料の閲覧場所の4ヶ所というのは知立市の中ではパブリックコメントとしては一般的な閲覧場所ということですか。

(事務局) 知立市のパブリックコメントは窓口については各課になりますが、その他図書館、行政資料コーナー、ホームページはお決まりの形となっています。

(議 長) 他にはよろしかったですか。このような形でパブリックコメントを実施していくとい

うことをご審議いただきたいと思います。パブリックコメントの実施について承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。承認されましたので事務局で手続きをお願いします。それでは、議題としては以上になりますので、進行を事務局にお返しします。

(司会) ありがとうございます。5.その他についてですが、事務局よりお知らせがございますので担当より説明いたします。

## 5. その他

(事務局) 乗り継ぎについて携帯やパソコン等で確認が難しいという意見もございましたが、ミニバスガイドの裏面にも電話ということでまちづくり課の連絡先と各コースを運行している事業者の連絡先が掲載されています。電話していただければ対応させていただきますのでよろしくお願いします。

(司会) 他に皆さんから確認したいことがありましたら何でも結構ですのでお願いします。

(委員) ICカードの使用は2・3・4コースのみとなっていますがどうしてでしょうか。

(事務局) ICカードを使用するには運行事業者がある協会に加入する必要があります。2・3・4コースを運行しています名鉄バスは加入をしており、1・5コースを運行する大興タクシーは加入しておりません。これは協会に加入するには多額のお金が必要になってくるためです。そういった状況のため1・5コースは使用ができません。ご了承いただければと思います。申し訳ございません。

(委員) 乗車料金種別調査の結果【資料3】をご覧ください。ICカードと高齢者ミニバス運賃無料パスに注目しながら見ていたのですが、1・5コースは高齢者の方が多いと感じました。一方でICカードについて11月6日は6.12%、7日は4.19%という結果になっており、この結果は誤っているように思えます。というのも3つのコースでしかICカードは利用できないのに、利用できないコースの人数も含めた総数で割っているためです。本来なら3つのコースだけで判断して割合を出さないといけないと思います。来年には消費税が上がって、キャッシュレスの流れが来る中で、そういう面では今後の判断を左右する資料となってくるかと思っておりますので注意していただければと思います。

(司会) ご意見ありがとうございます。その他にはよろしかったでしょうか。それでは本日の総合公共交通会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

